会派代表質問

《3月会議》

滝沢市議会では6つの会派が結成されており、日々活動しています。

それらの活動を活かして年に一度、市長施政方針及び教育施政方針の演述に対して各会派の代表がそれぞれ質問します。

今年は3月6日（金）に会派代表質問を行いましたので、概要をお知らせします。

県立大学アーチ前にて「青い春　薄紅色に染まる頬」写真提供：eye2→weaveたきざわ

Q 若者定住に向けた施策は

A 高校や大学との連携及び交流の拡大を図っていきます

滝政会　角掛 邦彦（つのかけ くにひこ）議員

録画映像

【問】若者定住に向けた大学、高等学校との連携及び交流施策は。

【答】岩手県立大学の授業「政策課題実習」への職員参加回数の増、盛岡大学と盛岡北高等学校の授業参加による施策説明と学生との交流及び岩手大学との連携など、さらなる拡大を図っていきます。

【問】中高生、大学生との交流の機会づくりは。

【答】高校、専門学校、大学に出向き「タキザワコレカラカイギ」を紹介、対話や議論を通じて「人とのつながり」の創出を念頭に、引き続き交流していきます。

【問】市民懇談会及び市長懇談会での意見等の予算への反映は。

【答】懇談会、座談会での意見や提言は庁内で共有し、各部・課で対応方針について検討します。

財源が課題であるものについては、特定財源の確保を含め、計画的に検討を進めます。

【問】自主財源確保に向けた施策は。

【答】ふるさと納税推進強化や企業版ふるさと納税等の研究を進め、自主財源の拡大に取り組みます。

【問】地域別計画実現に向けての更なる施策は。

【答】計画の課題を意識し、各懇談会とともに新しい事業展開をめざします。

【問】地域の活動拠点である各コミュニティ施設の拡充施策は。

【答】各自治会からの施設改修の要望に対しては、個別施設計画に基づき、市の補助金制度を活用し対応します。

新設は地域の負担も大きくなり、市の財源確保を進めるために初となる自治総合センターの「コミュニティセンター助成」採択をめざします。

【問】公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の進ちょく状況は。

【答】縮小させつつ充実を図る「縮充」を基本方針とし、主要な76施設を11の類別に分け、計画案を策定し公表します。

【問】小学校教員の外国語指導要領の研修等実施状況と今後の方針は。

【答】教員が「読むこと」「書くこと」を適切に指導できるよう「小・中学校ジョイントアップスクール事業」を通じて指導力向上を図るとともに、外国語指導助手を2名から3名に増員します。

【問】チャレンジデーの評価と検証による推進策は。

【答】参加率は、目標としていた30％を超えて38・8％でしたが、周知不足が課題と捉えています。

2年度は、のぼり旗によるPR活動や自治会によるラジオ体操の取り組みなど、参加率51％を目標に取り組みます。

【問】「市民議会U22学生編」開催にともなう教育長の見解は。

【答】本市の中学生・高校生・大学生が将来の市の夢を語り、しっかりと提言する姿が頼もしく、感動しました。

Q 健やかで笑顔にあふれるまちをつくるための支援策は

A 地域福祉の担い手が活動しやすい環境づくりを継続します

新志会　山谷 仁（やまや ひとし）議員

録画映像

【問】市長は就任以来1年4ヶ月を経て、前市長から大きく舵を切った計画・事業はどんなものがあるのか。

【答】元年度から四年間の市の政策、方向性を示した第一次滝沢市総合計画後期基本計画の舵を取るのが私の考える市政を進めることと捉えています。

後期基本計画策定にあたっては、毎年実施している「たきざわ幸福実感アンケート」などから市民のニーズ等の調査を行うとともに、各部、各課で環境分析し、計画を策定しています。

展開戦略として掲げている「健康づくり」と「若者定住」は、調査、分析などを行いながら基本計画策定を進める中で、庁内の議論、検討から導いたものであり、今後重点的に進める大きな戦略であると考えます。

【問】男女共同参画社会の推進、女性の活躍できる環境づくりが世界の課題であり、特にも日本が遅れていると言われている。

本市においても女性の活躍が多く期待されているが、今後の推進策は。

【答】男女ということに特化するのではなく、年齢や国籍等にも捉われることなく、人とのつながりを大切にしながら誰もが活躍できる地域づくりを推進します。

【問】健康福祉部がめざす4年後の姿「健やかで笑顔にあふれるまち」をつくるため、地域福祉の向上と生活困窮者への具体的な支援策は。

【答】要支援者の課題解決に向け、地域組織、地域支援者、市社会福祉協議会、関係機関と市が連携・協力しながら、地域福祉の担い手である民生委員・児童委員を支援し、活動しやすい環境づくりを継続します。

生活困窮者については、生活保護制度または生活困窮者自立支援制度による支援を行っています。

【問】いつまでも住み続けたいと思える街づくりとはどのようなものか。

【答】具体的な街づくり施策として、中心拠点の整備の推進、都市計画の見直し、近年増加している空き家対策の展開、滝沢総合公園施設の長寿命化計画に基づく整備をしていきます。

また、公共交通の施策として小岩井駅前広場整備、交通広場と施設の適正な維持管理、公共交通の利便性の向上などに取り組みます。

【問】「生きる力」を育てる教育について、本市教育の特徴はあるのか。

【答】本市の子どもたちは、地域の中で、多くの方々とのかかわりの中で育っています。一例として、スクールガードは、登下校の際に温かい言葉がけを行い、安全に登下校できるように、子どもたちを支えています。

Q 新年度予算で力を入れた施策は

A 「健康づくり」と「若者定住」に関し重点的に展開します

公明党　相原 孝彦（あいはら たかひこ）議員

録画映像

【問】2年度予算で力を入れた施策は。

【答】「健康づくり」と「若者定住」に関する施策を重点的に展開します。

「健康づくり」は「健幸アンバサダー」の養成や健康づくり宣言参加団体の支援、ウォーキングマップの作成、健康応援フェスタや事業所対抗健康づくりコンクールを実施します。

「若者定住」は、滝沢に愛着を持つ人を増やすための取り組みや雇用拡大を目的とした人材育成等に取り組みます。

また、イノベーションパーク活性化に係るセミナーの開催や、民間企業等の多種多様な人材との対話の機会を設けるなどの事業を展開します。

安全安心につながる事業として、滝沢南中学校通学路の防犯灯整備などを進めます。

【問】新型ウイルスなどに対する「危機管理」は。

【答】今般の新型コロナウイルス感染症は、2月1日に「指定感染症」に位置付けられました。

本市も3月3日に「滝沢市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、感染症の動向の情報共有や各部の対応の検討や連絡調整、市民への情報提供を行っています。

【問】財源確保のための具体的方策は。

【答】市税の収納率向上に注力するとともに、ふるさと納税、企業版ふるさと納税、ガバメントクラウドファンディングについても歳入拡大のために継続的に取り組んでいきます。

また、有利な補助金や起債の適用並びに普通交付税及び特別交付税の算定において実態を反映した経費の算入となるよう、県や関係省庁等を積極的に訪問し、市の実情を訴えていきます。

【問】市内小中学校のICT化が遅いのでは。

【答】教職員が使用する校務用パソコンの整備は、2年度に2校の整備を予定しており、これにより全ての小中学校で整備が完了します。

学校の無線LAN環境は、学習環境の充実のため必要性を認識しており、導入を検討中です。

【問】外国語教育やデジタル教材の活用による教育環境の変化への対応策は。

【答】本市の小学校教員のうち英語の免許を保有している教員は小学校教員全体の6％であり、来年度からの本格実施に伴い、外国語指導助手を2名から3名に増員します。

デジタル教材の活用は、各教科等の学習において、映像資料やスライドなどのデジタル教材を活用することで、学習内容が分かり易くなるため、活用を推進することが効果的であると認識しています。

市教育委員会は、各小学校に外国語の指導に係るデジタル教材等を配備し、外国語教育の充実に努めていきます。

Q 地域づくり懇談会の今後の在り方は

A 構成メンバーを増員し近隣の懇談会との連携も大切です

滝沢市民クラブ　齋藤 明（さいとう あきら）議員

録画映像

【問】市民主体の地域づくりである地域別計画の成果は。

【答】地域が主体的に行っている地域づくり活動が、長年継続されていることは一つの成果であると捉えています。また、地域が自発的に婚活を目的とした団体を立ち上げたり、NPO法人を設置するなど、市民が主体的な地域づくりに取り組むことは、地域力が増していると捉えています。

【問】地域づくり懇談会の今後の在り方は。

【答】活動への参加者の広がり」を課題として、懇談会の構成メンバーを増員しながら必要に応じ近隣の懇談会との連携も意識することも大切と考えています。

【問】健康づくり活動の新たな取り組みは。

【答】健康づくりは、多くの市民参加が大切です。しかしながら、関心が低い・無関心層が7割ほど存在する可能性が指摘され、この対象者をいかに関心層に導くかが課題と考えます。そのため、正しい情報を効果的に提供し、意図せず健康づくりに参加する環境の整備を進めます。

具体的事業は2年度に設置予定の、プロジェクトチームで検討します。

【問】観光及び物産振興の取り組みは。

【答】観光の情報発信は、文化庁から記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選ばれているチャグチャグ馬コと岩手山、鞍掛山といった豊かな自然の情報発信が中心と考えています。

物産振興の情報発信は、滝沢市観光協会、滝沢市商工会、市内の産直施設や企業と連携し、市内の「滝祭」「滝沢スイカまつり」など各種イベントを通じて、情報発信に努めます。

【問】ふるさと納税の返礼品の商品開発は。

【答】返礼品は、2年度より観光物産課で所管し発信します。さらには市観光協会、JA新いわて、市商工会と連携強化し、既存の返礼品のブラッシュアップと新たな返礼品の開発を行い、農商工連携による地域産業の活性化をめざします。

【問】学校教育における、豊かな人間性や社会性の育成は。

【答】友達や自分の命を尊重する態度、思いやりの心、郷土を愛する心については、自分の命を大切にし、他人を思いやる心を育む「命の教育」に取り組んでいます。道徳を中心とした各教科等の指導の充実を図り、すべての小中学校で毎月の11日を「安全・安心・心の日」と位置付け、命の大切さを考える機会としています。

郷土を愛する心を育むために「豊かな自然環境を生かした産業」や「伝統芸能を継承する文化」など、本市の特色を活かした学習活動に取り組んでいます。

Q 高すぎる国民健康保険税の軽減を図るべきと考えるがどうか

A 低所得者には必要な条例改正を行い適正に実施します

日本共産党　仲田 孝行（なかだ たかゆき）議員

録画映像

【問】市民自らが避難したいと思えるような避難所の環境づくりは。

【答】避難所は被災者のよりどころで支援の拠点でもあることから、避難所の環境づくりは非常に重要と考えています。

【問】ごみ処理広域化ではごみ減量は進まず、地元の理解も得られないので見直すべきでは。

【答】広域化基本構想は、循環型社会形成の推進をめざしています。広域化推進協議会は建設予定地の決定にあたり、最も有力な盛岡！・C付近の地域との協議を継続していきます。

【問】生活困窮者に対し「生活保護制度」を「生活保障制度」の位置づけで、制度利用をより広範に周知していく考えは。

【答】市民に対し、本制度のホームページ掲載内容を全面的に見直し、より詳しく周知しました。

【問】高すぎる国民健康保険税を放置したまま国保制度を維持することは不可能だ。負担軽減を図るべきと考えるが。

【答】低所得者に対する軽減は、必要な条例改正を行い、適正に実施します。

【問】今年8月から中学生までの医療費の窓口負担が無くなるが、さらに高校生まで広げる考えは。

【答】子ども医療費の現物給付の更なる拡大は、県や県内市町村と協議しながら検討します。

【問】上水道、下水道とも公営企業として堅実な経営内容ととらえているが、受益者負担をもとめ値上げをする予定は。

【答】水道事業は決算審査で「安定した純利益を確保している」とされていますが、今後、施設更新の資金は減少が見込まれ、元年5月に策定の計画で水道料金の改定を見込んだ財政計画としました。

本計画を修正しながら、適正な料金を検討します。

下水道事業は資金力が弱く、災害などによる突発的な大規模修繕等には対応できない可能性があり、使用料は定期的に検証や見直しが必要です。

【問】昨年実施した「就学援助・助成制度」で入学準備金を入学前に支給したことへの評価は。また、本制度をさらに拡充する考えは。

【答】保護者の負担を伴うことなく、必要な学用品を購入でき、本制度の趣旨に沿った効果がありました。拡充は、個々の事情に応じて対応します。

【問】教員の多忙化解消を進めるとあるが、残業を減らす数値目標は。

【答】月45時間、年360時間以内、特別に事情があるときに月100時間、年720時間以内を目標とします。

【問】なり手不足解消に、スクールガードの名称を通学安全サポーターなどと改め、参加しやすい制度にする考えは。

【答】現在の名称が親しまれており変更は考えていませんが、気軽に協力できる活動であることを紹介していきます。